

事務事業名	〈H24新規〉地域エネルギー活用プロジェクト推進事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2012-900018																								
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	地球温暖化対策室	課長名	保坂正彦																								
			所属担当	自然エネルギー推進担当	担当者名	河野慎介																								
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 04	項 01	目 05	細目 090	細々目 19																				
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																										
施策	32	自然と共生する地域づくり																												
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成24 ~ 年度)			法令根拠																										
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市長の施政方針において目指すべき市の将来像である「公平・公正な「ふるさと愛」及び「文明と自然とが調和した、地域の人々が知恵を出し合う、心豊かなふるさと、世界に誇れるまち、南アルプス市」実現のための「ふるさと愛プロジェクト」のひとつである。地域資源を活用したエネルギーを推進し市内のエネルギー自給率の向上を目指す。併せて地球温暖化対策を推し進め、環境保護意識の啓発、高揚を図る。具体的にはスマートシティの実現に向け、小水力、太陽光、太陽熱、などの自然エネルギーの利用促進、剪定枝や間伐廃材の活用、工場のエネルギー利用の可能性の研究も実行			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td>61</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査研究委託料</td> <td>2,361</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>2,433</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	普通旅費	61			消耗品費	11			調査研究委託料	2,361					計	2,433
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
普通旅費	61																													
消耗品費	11																													
調査研究委託料	2,361																													
		計	2,433																											

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績：市内事業所のエネルギー消費分析調査・公共施設への自然エネルギー導入計画の策定・わくわくエコチャレンジ 25年度活動予定：市民参加による低炭素化推進事業(わくわくエコチャレンジ)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 市内の世帯	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市民が自然エネルギーに関心を寄せ家庭への導入が進む 公共施設への自然エネルギー設備の整備が進む	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	Co2排出量が減り温暖化対策が推進される	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

年		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			1,202	1,202	1,202	1,202
		一般財源	千円		2,433				
		事業費計(A)	千円	0	2,433	1,202	1,202	1,202	1,202
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
		人件費計(B)	千円	0	23,772	23,772	23,772	23,772	23,772
		(A)+(B)	千円	0	26,205	24,974	24,974	24,974	24,974
		活動指標	回		8.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	対象指標	人 世帯		73,684.0 25,652.0	74,000.0 25,700.0	74,000.0 25,700.0	74,000.0 25,700.0	74,000.0 25,700.0	
	成果指標	件 施設(台)		346.0 46.0	330.0 49.0	330.0 50.0	350.0 52.0	350.0 52.0	
	上位成果指標	kwh		1,141,000.0	1,169,000.0	1,197,000.0	1,225,000.0	1,225,000.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成24年度から、市長の掲げるまちづくりイメージを実現する「ふるさと愛プロジェクト」のひとつとして開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	震災を受け自然エネルギーへの関心が一段と高まっている。さらに新エネルギーの導入は新規産業や雇用の創出等にも結びつくなど様々な意義を有している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特に市民からの意見・要望はないが、事業者などからは今後の進展に興味や期待が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成24年度からの新規事業。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	市民参加による低炭素化推進事業(わくわくエコチャレンジ)により、環境保護意識の啓発、高揚を図った。

事務事業名	「H24新規」地域エネルギー活用プロジェクト推進事業	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	----------------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 自然エネルギーの導入促進は、総合計画後期基本計画において重点事業とされており、施策体系との整合性はとれている。事業実施により施策の目標値(まちづくり指標)の成果向上が見込める。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 エネルギーの地産地消は市長のローカルマニフェストであり、市の施策として行うのは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域に存在する新エネルギーの重要性を市民が再認識することで、本市の自然を守り、地球温暖化に配慮したまちづくりを、市全体で図って行くための事業で、今後も継続が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市民や事業者が自然エネルギーに関心を寄せており、プロジェクトの展開により一層の成果が期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 休止・廃止した場合は、温暖化防止対策の進展は望めない。温暖化対策は国を挙げての課題であり、市として取組む意識の低下は免れない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 エネルギーの地産地消に向けて施策を展開するもので、発電施設の整備などの事業費も、今後のプロジェクト中で検討していく。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の職員で実施しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域エネルギーの活用策であり、市内及び市民に公平公正な事業で、受益も平等に享受される。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域エネルギー活用プロジェクトの推進のための基礎調査を行った年であった。 厳しい財政事情であることから、エネルギー施策単独での実施は難しい状況。 ソフト部門の取り組みとして市民を巻き込んだ省エネ運動の展開を試みた。 内外にアピールするには、ハード事業も必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ・景気対策による国の助成制度などの情報収集に努める。 ・財源がなくても行えるエコ運動などを積極的に導入する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 特になし。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					